

＜令和5年度 京都市立醍醐小学校 学校経営方針＞

はじめに

「チーム醍醐」から「オール醍醐」へ 総力をあげて・・・

本年度は、醍醐小学校の変革期ととらえ、挑戦し続ける1年でありたいと考えています。

チーム醍醐を、より高みを目指したオール醍醐へと、個々一人一人の能力を最大限に生かし、醍醐小学校の子どもたちのために、共に汗をかきたいと考えています。

一人一人は小さな力でも、皆で集まれば大きな力となります。一人一人が醍醐小学校になくてはならない存在です。今年度は「自分から」を合言葉に、お互いのよさを認め合い、切磋琢磨して、助け合いながらの1年にしたいと思います。大人も子どもも「醍醐小学校が好き」と言える、誇れる学校にしていきたいと思います。

学校教育目標

「次代と未来を創る 醍醐の子を育てる」 ～自ら学び、共に支え高め合う子ども～

「次代と未来を創る」とは、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会を創造していくことと考えます。そのために、確かな学力を身につけることで、自分の夢や希望を持つことができる。また、夢や希望を選択することができる。そして、夢や希望が叶えられる姿を目指します。

「自ら学び」とは、自分から課題をもち、学ぼうとする。そして、学んだことを発信することと考えます。「共に支え高め合う」とは、互いのことをよく知り、同じ目的に向けて、相手のよさを認めながら協力することで、一人では達成できないことも仲間と共に切磋琢磨して達成することで、自己有用感や自己肯定感を高めていきます。

(重点)

- ①子どもたち一人一人が自分のよさや可能性を認識する（自己肯定感）
- ②自分とは異なる他者を価値ある存在として尊重する（他者理解）
- ③多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越えていく（インクルーシブ）

＜学校経営方針＞

1 わかる・できる・楽しい学校づくり

- ・「わかった」「できた」という楽しさを実感できる授業づくり
- ・友達と過ごす楽しさ、一人ではできないことをみんなでやり遂げた体験
- ・人と人との関わりが楽しいと思える経験

2 一人一人の子どもに寄り添う学校づくり

- ・多くの目（全教職員）で一人一人の子どもを見守る
- ・子どもの思いを聞き、その子どもに応じた道筋を示す
- ・子ども一人一人の居場所がある。必要とされているといった思いがもてる

3 心も体も安心安全に過ごせる学校づくり

- ・子どもの命を守りきる
- ・子どもの教育環境を整える
- ・子どもが安心して過ごせる学級づくり

<目指す学校像> 活気に満ちた学校

1 笑顔あふれる楽しい学校

- ・子どもの笑顔が見られる取組を
- ・醍醐小学校が好きと言える子に

2 子どもに夢や希望をあたえる学校

- ・子どもに将来展望をもたせる
- ・夢や希望がもてるような確かな学力をつける

3 安心安全で地域に開かれた学校

- ・社会に開かれた学校づくり
- ・地域との連携「子どもは地域の宝」

<目指す子ども像> 醍醐ブランドを自負し、醍醐プライドをもてる子ども

1 あきらめない子

「目標達成のために努力する子に」

- ・しんどいときのびるとき
- ・自分に合った目標をもつことができる
- ・目標達成のための見通しがもち、目標達成のために努力・継続ができる
- ・振り返りをして、次の目標が立てられる

⇒自分を更新していくことで、自尊感情を育てる

2 やさしい子

「自分も人も大切にする子に」

- ・あいさつができる
- ・「ありがとう」の感謝の心
- ・「ごめんなさい」の素直な心
- ・「大丈夫？」と声をかける思いやりの心

3 たくましい子

「心も体も強い子に」

- ・基本的な生活習慣を身につけている
- ・ルールを守って活動している
- ・進んで運動している
- ・心の悩みを話すことができる

＜目指す教職員像＞ 協働する教職員集団

1 チーム力を発揮できる教職員

- ・子どものために「やるときはやる。やるべきことをやる。」
- ・自分の職責を果たし、相互理解に努める
- ・決して一人にしない、みんなで達成の喜びを味わう

2 子どもにかかわりきる教職員

- ・キーワードは「徹底」
- ・その子の最後の砦となる

3 保護者・地域から信頼される教職員

- ・子どもの教育に携わっている自覚と責任ある行動
- ・あいさつ、言葉づかい、笑顔

4. 学び続ける教職員

- ・自らの授業を磨く
- ・鋭い人権感覚をもち、実践する力をつける

＜育てたい資質・能力＞

問題解決力・・・学習課題や学習問題を自分事としてとらえ、解決への道筋をもち、主体的に解決できる力

自己表現力・・・自己の学びを相手に伝えることができる力

＜育てたい資質・能力を身につけさせるための5つの柱＞

I. 研究・GIGAの取組

- 研究を通して、問題解決力、自己表現力を育成する
- GIGA 端末を活用し、調べ学習の充実を図ったり、プレゼンテーションを使って自己主張したりできる姿を目指す

II. 図書館教育の充実

- 読む活動を通して、想像力を高めたり、語彙を増やしたりして、自己表現力の向上につなげる

III. 授業力・学級経営力の向上

- 学び続ける教職員、自己研鑽に努める

IV. インクルーシブ教育（児童一人ひとりに合った教育を行う）

- 生徒指導の観点、総合育成支援教育の観点から、学校体制として取り組むべきことを実践する

V. 働き方改革

- 子どもの成長を共に喜び、心身共に元気に活動できるようにする
- 教職員がいきいきと子どもに向き合う